

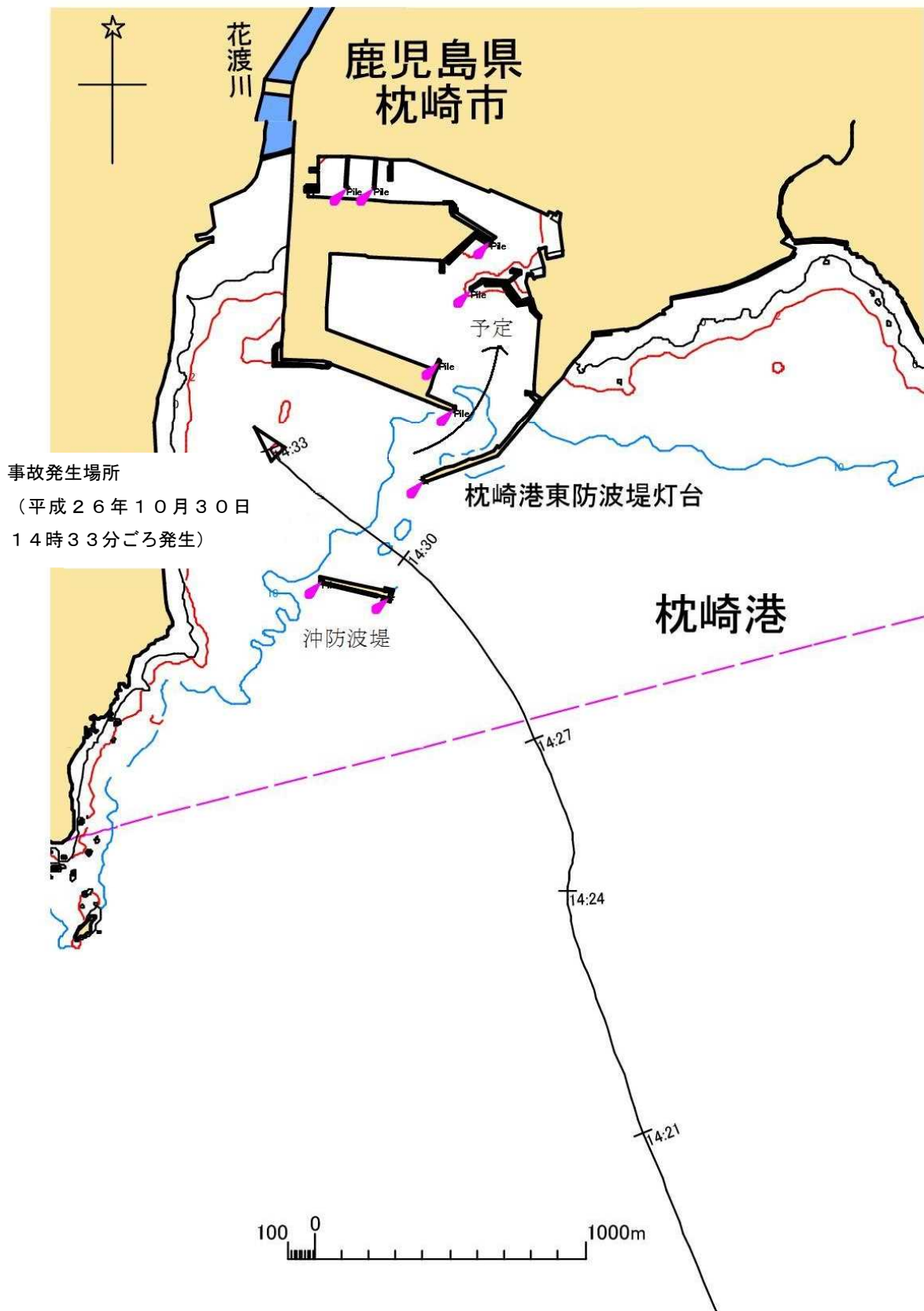
船舶事故調査報告書

平成27年4月30日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成26年10月30日 14時33分ごろ
発生場所	鹿児島県枕崎市枕崎港 枕崎港東防波堤灯台から真方位282°560m付近 (概位 北緯31°15.60′ 東経130°17.17′)
事故調査の経過	平成26年11月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第128 ^{ふくいち} 福一丸、349トン 135614、福一漁業株式会社 63.49m×12.00m×7.27m、鋼 ディーゼル機関、1,912kW、平成11年1月12日
乗組員等に関する情報	船長 男性 44歳 三級海技士（航海） 免許年月日 平成24年4月12日 免状交付年月日 平成24年4月12日 免状有効期間満了日 平成29年4月11日
死傷者等	なし
損傷	船底に凹損、ソナー及び潮流計に破損、推進器翼に欠損
事故の経過	本船は、太平洋中西部を主な漁場とする大型1そうまき網船であり、船長ほか21人（日本国籍11人、インドネシア共和国籍8人、キリバス共和国籍2人）が乗り組み、漁獲量等記録のためのオブザーバー1人（パプアニューギニア独立国籍）を乗せ、太平洋中西部での操業を終え、平成26年10月23日、水揚げのため枕崎港に向かった。 船長は、30日08時00分ごろから枕崎港入港に備え、船橋において自動操舵で操船に当たったが、海図等で港内の浅瀬の存在について調査していなかった。 船長は、14時23分ごろ、枕崎港に近づいたので、乗組員を入港配置につけ、機関長と共に左舷ウイングに出て、遠隔操縦装置による手動操舵で約5～9ノット（kn）の対地速力で北西進した。 船長は、沖防波堤の東側を北西進しているとき、枕崎港東防波堤を

	<p>右に見て大回りしても乗り揚げることはないものと思ひ、花渡川の河口南方に向けて北西進を続け、14時33分ごろ同河口南方に存在する浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長は、船底の浸水がないことを確認し、後進をかけたが、離礁できなかつたので、会社に報告し、会社が海上保安庁に連絡した。</p> <p>本船は、22時15分ごろ会社が手配したタグボート1隻の支援により、離礁し、自力で着岸して水揚げを行い、最寄りの造船所で応急修理を終え、静岡県焼津港に回航して造船所で船底凹損等の修理を行った。</p> <p>(付図1 航行経路図、付表1 AIS記録(抜粋) 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、今次出漁の焼津港出航時は船首約3.7m、船尾約5.8mであったが、本事故前後に測定しておらず、不詳であった。</p> <p>船長は、甲板員として20回程度、船長として数回枕崎港に入港していた。</p> <p>海図W1255(枕崎港)には、花渡川の河口南方に水深2m以下の添ヶ瀬等の浅瀬が記載されていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、枕崎港に入港する際、船長が、海図等で港内の浅瀬の存在について調査していなかったことから、大回りしても乗り揚げることはないものと思ひ、花渡川の河口南方に向けて北西進を続け、同河口南方に存在する浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、枕崎港に入港する際、船長が、海図等で港内の浅瀬の存在について調査していなかったため、花渡川の河口南方に向けて北西進を続け、同河口南方に存在する浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入港経験があつても、事前に港内の水路調査を十分に行うこと。

付図1 航行経路図



付表1 A I S記録(抜粋)

時刻 (時:分:秒)	北緯 (° -' -")	東経 (° -' -")	船首方位 (°)	対地針路 (°)	対地速力 (kn)
14:19:17	31-13-46.6	130-18-14.8	339	334.5	14.9
14:20:18	31-14-00.2	130-18-08.0	339	337.9	14.8
14:21:17	31-14-13.9	130-18-01.5	343	339.3	14.6
14:22:17	31-14-27.4	130-17-56.1	344	341.3	13.2
14:23:17	31-14-37.4	130-17-52.0	350	344.8	9.2
14:24:13	31-14-43.4	130-17-51.0	011	002.8	4.9
14:25:11	31-14-47.3	130-17-51.8	012	008.6	4.5
14:26:08	31-14-53.0	130-17-50.3	341	338.5	7.2
14:27:08	31-15-01.0	130-17-46.3	339	336.5	9.2
14:28:08	31-15-09.2	130-17-41.2	328	327.6	9.3
14:29:17	31-15-17.5	130-17-33.9	322	320.3	8.9
14:30:28	31-15-24.3	130-17-25.4	307	306.3	7.7
14:31:17	31-15-28.2	130-17-19.2	308	306.7	7.9
14:32:17	31-15-33.3	130-17-12.0	315	313.0	8.3
14:33:17	31-15-35.7	130-17-09.5	317	066.1	0.2

(注) 船位は、GPSアンテナの位置である。